



赤い羽根共同募金に温かい善意

菊陽町ジュニアリーダー冬のボランティア活動

菊陽町共同募金委員会(社会福祉協議会内)による街頭募金活動が1月8日、町内の商業施設2店舗で行われ、菊陽町ジュニアリーダー5人が参加しました。

ジュニアリーダーは、事前に冊子などで共同募金のしくみについてそれぞれが学び、募金活動に参加しました。

当日は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、協力の呼びかけやお礼の言葉は必要最低限になりましたが、温かい善意に感謝の言葉と笑顔を返しました。



配布物の受け取りを促すジュニアリーダー

にんじん収穫とカレー作り

菊陽町青少年健全育成町民会議主催

(株)まゆみ農園で12月18日、にんじん収穫体験と選果場の見学を行いました。参加者は親子8組の計19人。代表取締役の眞弓恵理子さんは、「にんじんが苦手な子どもが、体験を通して少しでも好きになってもらえたら嬉しい」と話しました。その後、本会員の家庭部会と、収穫したにんじんでカレーを作りました。採れたてのにんじんを絞ったジュースや、搾りかすを衣にした唐揚げの試食もありました。参加した親子は「子どもと体験できて楽しかった」と笑顔を見せました。



にんじんを収穫する親子

キャロッピー食堂開催!

地域女性の会が子どもたちにカレーを配布

キャロッピー食堂を1月8日、武蔵ヶ丘小学校で開催しました。当日参加の会員は計11人、来場者は計110人。

本事業は子どもたちの食育や地域交流を図ることを目的とし、食材は菊池地域農業協同組合菊陽中央支所から一部提供がありました。今回は武蔵ヶ丘小学校の児童全員を対象とした初めての開催で、今後は校区ごとに開催を予定しています。会員は前日の夕方から食材を仕込み始め、当日に備えました。

島田菜那さん(光の森4町内)は「今日は友だちとここまで走って来ました。おいしそうな匂いがあるので、早く帰って食べたいです。また開催して欲しい」と満面の笑みを見せました。

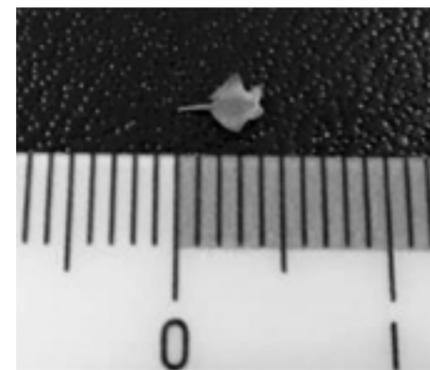
地域女性の会会長の酒井恵さん(辛川)は「今回はコロナ禍で配布のみとなりましたが、今後は食の提供のみではなく、子どもたちと活動をしていくキャロッピー食堂にしていきたいです。初めての開催でしたが、たくさん子どもたちが来てくれて嬉しかったです」と話しました。



1カレーを貰う島田さん
2カレーを楽しみに並ぶ子どもたち
3配膳する会員



公園に生えている様子



とげの部分

各地で生育域を広げています
このメリケントキンソウは特定外来生物に指定されていますが、最近では広域的な繁殖が確認されており、注意する必要があります。
危険な時期は、堅い実を付ける5月～6月ごろです。実はバラバラになりやすく、飛散することによって繁殖域を広げます。
また、芝生や草むらでは、直接座らない、手を付かない、はだしで歩かない、などの注意が必要です。

駆除の時期
発芽の時期は秋頃で、3月ごろに開花するため、花を付けて、堅い実になる3月頃に抜き取って除去したり、除草剤を使う方法が有効です。
なお、種が堅くなった時期の刈払い機による刈り取りは種子を拡散させるため望ましくありません。また、実が堅くなった時期に素手で抜き取ることは危険です。種子が飛散し生育域が広がらないよう、駆除する際にはご注意ください。

環境生活課 環境係 ☎(232)2114

けがをする恐れがあります
外来植物「メリケントキンソウ」に注意

マイナポイント第2弾続報!

マイナンバーカードの申請は9月末までに

マイナポイントは、マイナンバーカードの普及を促進するとともに、消費喚起や生活の質の向上につなげるために、マイナンバーカードを活用して、幅広いサービスや商品の購入などに利用できるポイント(1人当たり最大2万円相当)を付与するものです。今号では、追加情報をお知らせします。

対象者とポイント付与数・申込期間・対象となるカード申請期限

マイナポイント第2弾対象者	ポイント付与数	付与方式	ポイントの申請期間	ポイントの対象となるカードの申請期限
①カード新規取得者など	最大5,000円相当	20,000円のチャージまたは、お買い物に対し、最大5,000円相当のポイント付与	1月～令和5年2月末	9月末
②健康保険証利用申込	各7,500円相当	直接付与方式 ※チャージやお買い物に関係なく各7,500円相当のポイントを直接付与	6月頃～令和5年2月末	
③公金受取口座登録				

マイナンバーカードの作成は9月末、カードを受け取ったからのポイント申請は令和5年2月末までにするとポイントがもらえるんだね!



問い合わせ
マイナンバー総合フリーダイヤル
☎0120(95)0178
総合政策課 企画政策係
☎(232)2112



木のぬくもりを感じてみよう

このとり保育園で木育ワークショップ

木育ワークショップが1月12日、このとり保育園で行われました。参加した園児は計19人の年長児。これは、林業・木材産業広報協力事業協議会が熊本の木の良さを伝えるために行っている活動です。園児たちは、熊本県産の木を利用した木の棒を紙やすりで削って、手触りのよい箸を作り上げました。

小島啓跳さん(鉄砲小路)は「つるつるにできて嬉しかった。作ったお箸でお母さんのハンバーグを食べたい」と期待に満ちた目を輝かせました。



「自分のお箸つるつるにできたよ」と磨く園児

おはようのあいさつを元気に

青少年健全育成町民会議 中学校挨拶運動

新学期のスタートに合わせて「早朝あいさつ運動」が、菊陽中学校で1月11日、武蔵ヶ丘中学校で12日に行われました。あいさつは人と人とをつなぐコミュニケーションの第1歩。この活動は菊陽町青少年健全育成町民会議が行っているもので、大人も子どもも自分から進んであいさつを心がけ、あいさつの声があふれる活気ある町を目指し行われました。生徒たちは、町民会議会員と「おはようございます」とあいさつを交わし、気持ちの良い朝のスタートを切りました。



武蔵ヶ丘中学校正門前

練習の成果を発揮

元気の森ラビット保育園発表会を開催

元気の森ラビット保育園の第9回キラキラえがおの発表会が1月29日、菊陽町図書館で行われました。発表した園児は125人、観覧した保護者は計250人。年齢別に時間帯を分けて開催。園児は練習したダンスや劇、体操などの練習の成果をしっかりと保護者に見せていました。

保護者は「コロナ禍でも開催できて良かったです」「感動で涙が出ました」とたくさんの感謝の言葉を述べていました。



年長児が披露した「シンデレラ」の一幕

大きく育った武北にんじん

武蔵ヶ丘北小学校3年生の総合学習

武蔵ヶ丘北小学校の3年生88人が1月12日、内藤^{ないとう}静紀^{せいき}さん(花立)をゲストティーチャーに招き、にんじんの収穫を行いました。地域学校協働活動の一環として、同校では初めての取り組み。9月に内藤さん協力の下、花壇を畑に整地し、児童自ら種植えを行い、4カ月間大切に育ててきました。

児童の一人は「苦手なにんじんだけど、自分たちが育てたにんじんは、おいしそう。人間みたいな形のにんじんが出て面白かったです」と感想を述べました。



大きく育ったにんじんをいっぱい抜く児童